

		手術前日(入院) /	手術当日 /	手術1日目 /	手術2日目 /	手術3日目 /	手術4・5日目 /	手術6日目(退院) /
観察	入院時検温	手術前・後に検温 ※状態により適宜 のどの痛み、吐き気、出血など何か 変わったことがあればお知らせください	手術前・後に検温 ※状態により適宜	1回(午前)に検温 ※状態により適宜				
安静	自由に動けます	手術後は歩いてトイレにいけます (初回は看護師が付き添います) トイレ以外はなるべく安静に していきましょう	自由に動けますが、出血のリスクが高いため、できるだけ安静にしましょう 大声やガラガラうがいのはかさぶたがはがれ出血が起きやすくなる為やめましょう					
食事	普通食 手術予定時間が 15時までの場合、 21時以降は食事は やめてください	午前手術の場合: 当日7時までお茶・水・スポーツ飲料の 飲水可	朝食から流動食、 夕から3分粥がでます	朝食より3分粥、 夕より5分粥が でます	朝食より5分粥が でます	朝食より7分粥がでます(退院まで)	傷の安静と出血予防のため、 刺激の強いもの硬いもの・熱いものは避けましょう	
		12時～15時までの手術の場合: 当日9時までお茶・水・スポーツ飲料の 飲水可	15時以降の手術の場合: 当日8時まで食事可 当日12時までお茶・水・スポーツ飲料の 飲水可 手術帰室3時間後に看護師がお腹の音 を確認後、飲水ができます	朝食より流動食がでます	朝食より3分粥、 夕より5分粥が でます	朝食より7分粥がでます(退院まで)	傷の安静と出血予防のため、 刺激の強いもの硬いもの・熱いものは避けましょう	
清潔	手術の準備として入浴、 洗髪をしましょう	入浴はできません	体を拭くことができます	シャワーに入れます(温まることで出血する可能性があるため入浴できません)	シャンプーができます			
診察 処置	入院後診察があります (病棟内の診察室で行いま す)	朝の診察はありません	毎日診察があります(9時頃放送が入り、病棟医が行います) のどの吸入を1日2回(診察後と夕食後)行いましょう (のどの腫れをおさえ、痛みを和らげます。また感染を予防します)					
検査			朝、採血があります (貧血、炎症反応などを 調べます)					
薬物 療法	点滴	手術中に点滴が始まります (次の日の朝まであります) 痛み、吐き気、発熱時は薬を使用します	水分を補う点滴と 抗生剤の点滴があります	水分を補う点滴があ ります	ご飯が半分以上、または水分摂取がすすまなければ 点滴が追加されます(3日目から)			
	内服薬	常用薬を看護師が お尋ねします	鎮痛薬と胃薬を食事の 30～1時間前に飲みましょう (看護師がお渡しします)	抗生剤が点滴から内服薬にかわり (朝、看護師がお渡しします)	痛みがある場合鎮痛薬 が処方されます			
説明 指導	病棟内の説明があります 入院までの経過を看護師 がお聞きします		看護師から手術後の 食事についての説明が あります		退院後の生活について 看護師から説明があります (仕事・風呂・食事・会計 について)		次回外来について診察時 説明します その時に診察券と次回の 予約券をお渡します	
退院 計画	看護師から手術前後に についての説明があります 手術同意書の確認を します		薬剤師から内服薬についての説明があります (手術後1日目または2日目)				薬剤師から退院後の 服薬の注意点について 説明があります	
目標	入院中の予定がわかり、 手術後の注意事項がわかる	出血があったときすぐに看護師に報告できる 術後出血を起こさない為に何を注意 すれば良いかわかる	出血を予防できるように食事制限が守れる 食事前に鎮痛剤を内服することで食事がとれる				退院後の生活の注意事項がわかり 出血を予防できる	

症状・経過によってはスケジュール通りにならない場合があります。

2003年4月承認(2017年7月31日改訂)パス委員会承認 聖隷浜松病院B4病棟